学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
商　業	簿記	2	3	なし

使用教科書	副読本等
東京法令出版株式会社「簿記　新訂版」	自主教材

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
とくになし 簿記検定を受検するときは受験費が別途必要（2,160円から）				○		○		

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

店や会社の会計の基本となる簿記の基礎について学習し、簿記検定を受検する。簿記は四則計算を確実にできれば難しくない。
また、ビジネスマナーやマーケティングなどのビジネスの基礎についても学習するので、就職希望の者だけでなく、いずれ役立つ知識を身につけたい人は選択してください。

2．学習の到達目標

・複式簿記の基本的な知識と記帳能力を養う。
・簿記会計情報を活用するための基本的な能力を養う。
・ビジネスの諸活動に関する基礎的な知識技術の修得を目指す。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	簿記の意義・役割に関心を示し、適正な会計処理を行うことを目指して主体的により組もうとするとともに、練習問題や課題に実践的に取り組む。	適正な会計処理を行うことを目指し、簿記上の取引を考え、５つの要素（資産、負債、資本、収益、費用）に区分する判断力がある。またビジネスの諸活動に携わる者としての判断力と表現力を身につける。	簿記に関する取引の記録・計算・整理に関する知識・技能を身につけ、その技術を適切に活用している。	簿記の総合的な知識を理解でき、企業の財政状態の変化を理解する。
評価方法	練習問題プリント レポート	定期考査 レポート	定期考査 練習問題演習などに対する態度	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	1　企業の簿記 2　資産負債純資産	・簿記の意味、簿記の目的、簿記の種類 ・簿記の五つの要素、資産、負債、資本と貸借対照表	○ ○			 ○	a：企業における簿記の意味や目的について関心を持ち，簿記の必要性を理解した上で，自ら進んで簿記の学習に取り組もうとしている a：資産・負債・純資産・貸借対照表・当期純損益の計算について関心を持ち，自ら進んで調べたりして貸借対照表の作成のしかたを身に付けようとしている。 d：資産・負債・純資産・貸借対照表・当期純損益の計算について把握し，貸借対照表等式によって資産・負債・純資産の題尺対照表等式の関係を理解している。	練習問題演習 課題プリント 定期考査
5月 下旬 ～ 7月	3　収益費用 4取引と勘定	・純損益の発生原因、収益、費用、収益・費用の発生、損益計算書 ・取引の意味、勘定の意味、勘定口座、勘定記入の方法	○ ○	○ ○	 ○	 ○	a：純資産が増減する要因となる収益と費用について関心を示し,当期純損益を計算して損益計算書を作成する方法を身につけようとしている。 b：簿記の基礎である収益・費用についての思考と理解を深め,当期純損益を計算し,損益計算書を作成することによって，その内容を適切に表現することができる。 c：簿記の基礎である収益・費用の項目や，損益計算書等式の意味，損益計算書の作成のしかたを説明することができる。 d：簿記の基礎である収益や費用に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに,損益計算書の作成のしかたを理解している。	練習問題演習 課題プリント 定期考査
8月 下旬 ～ 10月 上旬	5　仕訳と勘定への記入 6　仕訳帳と総勘定元帳	・仕訳、転記 ・取引の記帳、仕訳帳の記入方法、総勘定元帳の記入方法	○ ○	○ ○	 ○	 ○	a：仕訳の意味や勘定口座に転記する方法について関心を示し，積極的に調べたりしてその記入方法を身につけようとしている。 b：仕訳の意味や勘定口座の転記に関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけ，取引を仕訳として表現し，それを勘定口座に転記することができる。 c：仕訳帳・総勘定元帳の記帳に関する基礎的・基本的な知識を把握し，仕訳帳と総勘定元帳の作成することができる。 d：仕訳帳・総勘定元帳についての基礎的・基本的な知識を身につけ，その記帳のしかたについても理解している。	練習問題演習 課題プリント 定期考査
10月 中旬 ～ 12月	7　試算表 8　決算	試算表の意味、試算表の種類と作成方法 精算表の意味、精算表の作成方法決算の意味、決算の手続き	○ ○	○ ○	 ○	 ○	a：試算表の役割について関心を持ち，自ら進んで調べて,その作成を習得しようとしている。 b：試算表の意味についての理解を深め，その作成方法についての知識を身につけている。また計算の正確性を試算表の作成によって表現できる。 c：決算をおこなう上で必要な手続きに関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけ，決算処理のしかたを適切に説明することができる。 d：決算に関する基本的・基礎的な知識と技術を身につけ，決算報告に必要な損益計算書と貸借対照表の作成のしかたを理解している。	練習問題演習 課題プリント 定期考査
1月 ～ 2月	9　各種取引の処理 10　総合演習	・現金預金の記帳、商品売買の記帳、掛取引の記帳 ・仕訳帳、総勘定元帳、試算表、精算表	○ ○	○ ○	 ○	 ○	a：約束手形と為替手形などの種類や手形の裏書・割引などに関心を持ち，自ら進んで調べたり質問したりしながら知識を身につけようとしている。 b：有価証券の種類や売却についての基礎的・基本的な知識を活用して適切に判断することができる。 c：手形の種類や手書きの裏書・割引について理解し、有価証券の種類や売却についての基礎的・基本的な知識を活用し，正確な記帳をおこなうことができる。 d：仕入伝票・売上伝票についての基礎的・基本的な知識を身につけ，その役割や記帳法，集計・転記について適切に理解している。	練習問題演習 課題プリント 定期考査